

令和7年度 舞子高等学校 学校評価(自己評価)表

教育目標

「誠実 健全 親愛 勤勉」の校訓のもと、人格の陶冶をはかり、知・徳・体の調和のとれた、みずみずしい感性を備えたところ豊かな人間を育成する。

教育方針

激変する社会で確かな判断をするための「学力」、「体験」、「コミュニケーション能力」の3つに挑戦し、自立して未来を生きぬく力を育む。

キャッチフレーズ

ワンランク上への自分磨き 舞子高校

学校経営の重点

		評価
A 自己実現を目指した進路指導の充実	A 1 自己理解を深めるための情報共有や相談活動を充実させる。	3.0
	A 2 勤労観・職業観を育成し、主体的に進路を選択できる能力・態度を育てる。	3.0
B 学力向上を目指す学習指導の充実	B 1 学力の3要素(①知識・技能 ②思考・判断・表現力 ③主体性・多様性・協働性)を育成するため、指導内容の充実と指導方法の工夫・改善を行う。	3.0
	B 2 より分かりやすく達成感が味わえる授業の実現に努め、学習意欲の向上と学習習慣の定着を図り学力の向上を目指す。	2.9
C 内面理解に基づく生徒指導の充実	C 1 人間的なふれあいを通じて心のきずなを深め他者を思いやる心を育む。	3.1
	C 2 規範意識や公共心などの社会性を培い、生徒の自主性・自律性を育成する。	3.1
D 実践力を培う健康教育と安全教育の充実	D 1 自他の生命を尊重し、生涯にわたって健康で安全な生活を送ることができる態度・習慣を培う。	3.1
	D 2 災害等から生命を守る実践的態度や能力を育成し、点検や訓練を通して学校生活の安全を徹底する等、安全意識の高揚を図る。	3.3
E 魅力ある学校づくりの推進	E 1 地球規模で考え地域で活動する(Think Globally, Act Locally)人間の育成に努める防災教育を充実させる。	3.0
	E 2 自尊感情を高め社会に貢献できる人材を育成するために、特色ある教育課程の充実や体験的な学習を推進する。	3.0

各部署の重点目標

		評価		評価
A	A 1 自己理解を深めるための情報共有や相談活動を充実させる。	3.0	A 2 勤労観・職業観を育成し、主体的に進路を選択できる能力・態度を育てる。	3.0
	進路2 進路情報の共有	2.9	進路1 主体的進路決定能力の育成	3
	進路3 進路実現のための学力の育成	2.9	先進理工1 自然科学分野の学問や産業への興味関心の涵養	3
	環防3 教員間の連携	3.2		
	2学年3 自己実現を目指した進路指導	3.2		
	3学年3 自己実現を目指した進路指導	3		

		評価		評価
B	B 1 学力の3要素を育成するため、指導内容の充実と指導方法の工夫・改善を行う。	3.0	B 2 より分かりやすく達成感が味わえる授業の実現に努め、学習意欲の向上と学習習慣の定着を図り学力の向上を目指す。	2.9
	教務情報2 学習指導の充実	2.6	教務情報3 新学習指導要領の実施	2.5
	教務情報4 教員のICT機器活用指導力の向上	2.9	教務情報5 学習活動でのICT活用能力の向上	2.5
	進路3 進路実現のための学力の育成	2.9	教務情報6 BYODの効果的な活用	2.9
	環防1 専門科目や課外活動を通した「学力」の育成	3.3	先進理工1 自然科学分野の学問や産業への興味関心の涵養	3
	先進理工2 表現能力の育成	2.9	1 学年3 基礎学力の向上と自ら学ぶ意欲・探究心の醸成	3.2
	1 学年3 基礎学力の向上と自ら学ぶ意欲・探究心の醸成	3	2 学年2 基礎学力の定着と向上	3.2
	2 学年3 自己実現を目指した進路指導	3.2	3 学年2 基礎学力の定着と向上	2.9
	3 学年3 自己実現を目指した進路指導	3		

		評価		評価
C	C 1 人間的なふれあいを通じて心のきずなを深め他者を思いやる心を育む。	3.1	C 2 規範意識や公共心などの社会性を培い、生徒の自主性・自律性を育成する。	3.1
	総務2 人権教育の推進	3	総務1 体験を通じた生徒の主体性育成と学校の活性化	2.9
	生指1 学校行事、生徒会活動、部活動の活性化	3.1	総務2 人権教育の推進	3
	生指2 生徒の内面理解を通したいじめ防止、自殺抑止、マナー向上等、安心・安全な学校づくり	3.3	生指1 学校行事、生徒会活動、部活動の活性化	3.2
	保健3 心の教育の推進	3.1	生指3 全教員が共通理解をもって取り組む生徒指導	3.1
	1 学年2 人を思いやる心の育成	3.1	1 学年1 基本的生活習慣の確立	3
	2 学年1 思いやりと感謝の気持ちを持った、協調性のある生徒の育成	3.3	2 学年1 思いやりと感謝の気持ちを持った、協調性のある生徒の育成	3.2
	3 学年1 思いやりと感謝の気持ちを持った、協調性のある生徒の育成	3	3 学年1 思いやりと感謝の気持ちを持った、協調性のある生徒の育成	3.2

						評価	
D	D 1 自他の生命を尊重し、生涯にわたって健康で安全な生活を送ることができる態度・習慣を培う。		3. 1	D 2 災害等から生命を守る実践的態度や能力を育成し、点検や訓練を通して学校生活の安全を徹底する等、安全意識の高揚を図る。		3. 3	
	総務3	安心・安全な学校作りへの取組	2. 8	総務3	安心・安全な学校作りへの取組	3. 6	
	生指2	生徒の内面理解を通したいじめ防止、自殺抑止、マナー向上等、安心・安全な学校づくり	3. 2	保健2	安全教育・健康教育の推進	3. 3	
	保健 1	健康管理の重要性の認識・主体的に健康管理でできる能力の向上	3. 2	環防 3	教員間の連携	3. 1	
	保健2	安全教育・健康教育の推進	3				
	1 学年2	人を思いやる心の育成	3. 3				

			評価				評価
E	E 1 地球規模で考え地域で活動する(Think Globally, Act Locally)人間の育成に努める防災教育を充実させる。		3. 0	E 2 自尊感情を高め社会に貢献できる人材を育成するために、特色ある教育課程の充実や体験的な学習を推進する。		3. 0	
	総務3	安心・安全な学校作りへの取組	2. 8	総務 1	体験を通じた生徒の主体性育成と学校の活性化	2. 9	
	保健2	安全教育・健康教育の推進	3	教務情報 1	教育課程の編成	3	
	環防2	生徒・教員・地域の協働、地域ぐるみの防災力強化	3. 3	環防 1	専門科目や課外活動を通した「学力」の育成	3. 3	
				環防2	生徒・教員・地域の協働、地域ぐるみの防災力強化	3	
				先進理工 3	広報活動の充実	3	